

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-103		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 1・2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 11	図	(たのしく かこう) 点線で区切られた二つの図全体	児童にとって理解し難い図である。 (学習活動の指示がなく理解し難い。)	3-(3)	
2	3 巻 30	上7	(おがわの はる) 「ひばりのこ」	表記が不統一である。 (同ページ下2「めだかの こ」に照らして不統一。)	3-(4)	
3	98 - 99	囲み	(言いつたえられて いる お話を 知ろう) 「だいだらぼう」「いなばの 白うさ ぎ」の本文及び二次元コードの示し方	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切 である。 (内容(3)のアの「昔話や神話・伝承などの読み聞 かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に 親しむこと。」に照らして扱いが不適切。)	2-(1)	
4	4 巻 31	上吹き 出し	(主語と じゅつ語) 出しっぱなしだったよ。	児童にとって理解し難い例文である。 (主語と述語の例文として理解し難い。)	3-(3)	
5	94	2 - 4	(じょうほうの とびら) 少し にて いても、大きく ちがっ て いることが あります。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
6	114	吹き出 し	(かんそうを つたえ合おう) がまくんは、どうして かえるくん に 声を かけたんだらう。	児童にとって理解し難い表現である。 (本文に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-104		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 79	上1- 13	(人物やものの様子を表す言葉) 上段全体	児童にとって理解し難い指示である。 (指示の意図が理解し難い。)	3-(3)	
2	82	8 - 9	(心が動いたことを詩で表そう) 思いうかぶ言葉を連想しながら、	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
3	101	下段右	(『ポリーとはらぺこオオカミ』) はらぺこオオカミは、「赤ずきん」や 「七ひきの子やぎ」のように、くふう をこらしてポリーをおそってきます。	児童が誤解するおそれのある説明である。 (「赤ずきん」や「七ひきの子やぎ」について誤解 する。)	3-(3)	
4	102	上段右	(『イソップのおはなし』) よく知っているイソップの55話があり ます。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
5	128 - 129	上1- 下12	(主語とじゅつ語、つながってる?) 全体	児童にとって理解し難い説明と例文である。 (主語と述語のつながりの学習として理解し難い。 )	3-(3)	
6	148	上段右	(こんな本もいっしょに) ゾウのホートンたまごをかえす	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
7	2 巻 35	上5- 8	(漢字の読み方) ③も④も、「着」という漢字を訓読 みで用いています。しかし、「きる」 と「つく」とでは、言葉の意味は全く ちがいます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「全くちがいます。」)	3-(3)	
8	64	1 - 2	(本から発見したことをつたえ合おう ) 自然や社会などについて、事実をも とに書かれた本を、ノンフィクション といいます。	児童が誤解するおそれのある説明である。 (「ノンフィクション」について誤解する。)	3-(3)	
9	75	2 - 3	(俳句に親しもう) 「歳時記」を使えば、季語を調べるこ ともできます。	児童にとって理解し難い説明である。 (「歳時記」とは何か理解し難い。)	3-(3)	
10	4 巻 132 - 133	囲み	(デジタル資料を活用しよう) 囲み内に示されている参照ページ	児童にとって理解し難いページ表示である。 (「127ページなど」「90ページなど」「133ページ など」「12ページなど」「36ページなど」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-105		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻		書籍（上・下巻）全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 （内容(1)のウの「文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。」。）	2-(1)	
2	43	上5	（敬語、③「れる」「られる」をそえる言い方） 先生が帰られる。	児童にとって理解し難い用例である。 （「られる」の用例として理解し難い。）	3-(3)	
3	44	写真	（インターネットは冒険だ） MONO	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	47	1	（同） インターネットでは、だれもが情報を発信できるのが大きな特徴だ。	児童にとって理解し難い表現である。 （かかり受けが理解し難い。）	3-(3)	
5	49	9	（同） 情報が正しいかまちがっているかは関係がないため、	児童にとって理解し難い表現である。 （何と「関係がない」のか理解し難い。）	3-(3)	
6	59	9 - 10	（地域のみりよくを伝えよう） 鉄道の駅が三つ直結していて、 （60、61ページ下、図表内の「三つの駅と直結」も同。）	児童にとって理解し難い表現である。 （文意が理解し難い。）	3-(3)	
7	59	19 - 22	（同） インターネットで物を買うことができる今、人と人とのつながりの温かさを感じられるからこそ、多くの人が商店街をおとずれるのでしょうか。	児童にとって理解し難い表現である。 （文意が理解し難い。）	3-(3)	
			（62ページの「記事を見直してしゅう正した例」も同。）			
8	90	下3- 5	（思考に関わる言葉） ①②③	児童が誤解するおそれのある符号である。 （上段の用例の符号に照らして誤解する。）	3-(3)	
9	104	1段目 右	（本は友達 五年生の本だな、『糸子の体重計』） 五つの短編集。	児童が誤解するおそれのある表現である。 （短編集が五つあるかのように誤解する。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-105		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	106	1段目 右	(同、『落語少年サダキチ』) お笑いファンの小学五年生、忠司。	不正確である。 (登場人物の表記が不正確。)	3-(1)	
11	106	2段目 中	(同、『童のおつかい 今昔物語絵本』) 「今昔物語」をもとにした絵本。	不正確である。 (「今昔物語」。)	3-(1)	
12	115	囲み2	(心の動きを短歌で表そう、小学生が作った短歌) 凜	「凜」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
13	115	囲み4	(同) 悠	「悠」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
14	115	囲み8	(同) 璃	「璃」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
15	115	囲み1 0	(同) 伊	「伊」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
16	115	囲み1 0	(同) 智	「智」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
17	115	囲み1 4	(同) 鋏	「鋏」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
18	115	囲み1 4	(同) 姫	「姫」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
19	147	上4 - 5	(どうやって文をつなげればいいのか?) 「前の文と反対の内容が後ろの文に続くもの(逆接)」	児童にとって理解し難い説明である。 (逆接の説明として理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-105		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	202	6	(日本語と外国語) その反面	児童にとって理解し難い表現である。 (前後の内容に照らして理解し難い。)	3-(3)	
21	234	囲12 -13	(どう考える?もしもの技術) 中には、相手の気持ちを想像しなくな ってしまうから「心の声スピーカー」 は不要だと思う人もいるでしょう。	児童にとって理解し難い表現である。 (233ページの「自分の考えやその理由を整理した例 」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
22	243	囲み1 3	(資料を見て考えたことを話そう、坂 本さんの発表) これから	児童にとって理解し難い表現である。 (前後の内容に照らして理解し難い。)	3-(3)	
23	下巻 37	表1段 目3行	(本は友達 社会教育施設へ行こう) 称	「称」は、その使用に当たって学習上必要な配慮が されていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
24	37	表2段 目3行	(同) 冒	「冒」は、その使用に当たって学習上必要な配慮が されていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
25	37	表2段 目4行	(同) 淳 (204ページ囲み③も同。)	「淳」は、その使用に当たって学習上必要な配慮が されていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
26	68	上4 - 5	(文と文とのつながり) どちらも、「私買った」が「卵」を 修飾しているように、	児童にとって理解し難い説明である。 (例文に照らして理解し難い。)	3-(3)	
27	69	下6 - 10	(同) わたしも本当は覚えていた。あのころ 、みんなが自分とちがう人間に見えて とてもこわかった。そんなときにラン ドセルをひっくり返した高月さんを見	児童にとって理解し難い例文である。 (前の主語の説明に照らして理解し難い。)	3-(3)	
			て、かたの力がぬけたのだ。			
28	113	囲み4	(心の動きを俳句で表そう、小学生が 作った俳句) 彩	「彩」は、その使用に当たって学習上必要な配慮が されていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検定意見書

受理番号 104-105		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
29	113	囲み5	(同) 沼	「沼」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
30	113	囲み8	(同) 堀	「堀」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
31	113	囲み8	(同) 凌	「凌」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表外の漢字。)	固有 2-(1)	
32	150	下7-9	(その修飾は、どこにかかるの?) 手軽に味わえる 手軽に味わえるものではない	児童にとって理解し難い点線である。 (151ページの説明に照らして理解し難い。)	3-(3)	
33	168	下4-7	(情報の信頼性と著作権) 著作物は、著作者にとってとても大切な作品です。著作者の許可なしに使ったり、内容を変えたり、複製して配布したりすることはできません。著作者	児童にとって理解し難い説明である。 (著作権の説明として理解し難い。)	3-(3)	
			の持つこうした権利を「著作権」といいます。			
34	238	囲み	(どう立ち向かう?もしもの世界) 資料④(SNSの投稿C)全体	児童にとって理解し難い資料である。 (「多面的に検討して意見文を書く」という学習目標に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-106		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 1・2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 98	脚注	「一ばかり」の拡大鏡マーク (99ページ「それでも」、100ページ「ある日」、「とうとう」、「まげずに」、「あつというまに」、101ページ「くちぐちに」、102ページ「わっ	児童にとって理解し難い記号である。  (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			さわっさと」、「しょんぼりと」、「みあわせました」、103ページ「すっかり」も同)			
2	2 巻 15	脚注	「一たり、一たり」の拡大鏡マーク (同ページ「バケット」、16ページ「ホース」、「しょうかせん」、32ページ「なんと一ことか」、36ページ「かおり」、41ページ「たじたじと」、42	児童にとって理解し難い記号である。  (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			ページ「目をみはった」、44ページ「一人前」、64ページ「やく」、91ページ「一だけでなく」、131ページ「きやしない」、142ページ「たが」、「さずかりもん」、「わしんところ」、			
			143ページ「かみなりさん」、「しとるか」、「しとったら」、「そんなら」、「ふらすでな」、144ページ「あるでなあ」、145ページ「どうじゃろう」、「ふるしき」、150ページ「な			
			きつづける」も同)			
3	19	下	(『はたらくくるま みちをつくる』の作者名) こもりまさと	誤りである。	3-(1)	
4	81	上	(「ようすをおもいうかべる」) おはなしに出てくる人のようすをかんがえるために、つぎのことに気をつけましょう。 (139ページ「よんでおもったことを	児童にとって理解し難い表現である。  (「おはなしに出てくる人」)	3-(3)	
			まとめる」の「よんでおもったことをまとめるためには、そのおはなしの中にどのような人が出てきて、どのようなことをしたかを、しっかりとよむことが大切です。そして、その人のした			
			ことについて、あなたがどうおもったかをかんがえましょう。」も同)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-106		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 1・2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
5	140	1 - 2	この一年間、『ひろがることば』で、どのようなことばを学んできましたか。	誤記である。	3-(2)	
6	3巻 55	脚注	「さびし」の拡大鏡マーク(同ページ「よめな」、「いもと」、73ページ「すみか」、76ページ「きつねお兄ちゃんち」、104ページ「水ぎわ」、107ページ「しんでおいでかと」、109ページ「そっくり」、128ページ「いずもの国」、「いなばの国」、「おおくにぬし」、129ページ「わに」、131ページ「がま」も同)	児童にとって理解し難い記号である。 (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
7	4巻 10	脚注	「ぐみのみ」の拡大鏡マーク(13ページ「川口」、34ページ「木こり」、40ページ「いまいましい」、43ページ「戸口」、46ページ「あつけにとられる」、49ページ「すみか」、88ページ「ござらっしゃる」、「もちこ」、89ページ「かさこ」、「こさえて」、「町さ」、90ページ「ごんぼ」、91ページ「うす」、「きね」、93ページ「ふきっさらし」、「ほおべた」、94ページ「わりい」、98ページ「あいどり」、「つけな」、「じぞうさ」、100ページ「たわら」、「かます」、132ページ「花々」も同)	児童にとって理解し難い記号である。 (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
8	17	下表	(「思ったわけ」の記入例)三メートルの高さもあるたき	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
9	17	下囲み	「『思ったわけ』を書くときの言葉」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (「思ったわけ」を書くときの表現として理解し難い。)	3-(3)	
10	74	4 - 5	はねの大きさはロケットより大きくしないこと	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
11	144	1 - 2	この一年間、『ひろがることば』で、どのような言葉を学んできましたか。	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-107		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 14	脚注	「しりごみ」の拡大鏡マーク (15ページ「目をみはる」、「つめ草」、47ページ「さいきん」、51ページ「目うつり」、53ページ「川口」、「みちしおに乗る」、106ページ「句読	児童にとって理解し難い記号である。  (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			点」、「言葉づかい」、118ページ「やりきれない」、119ページ「とほうにくれる」、123ページ「しょうがパン」も同)			
2	35	下8- 9	「あき→あまあし……」とさがしていくと、「あまい」が見つかります。	児童にとって理解し難い表現である。  (直前の説明に照らして理解し難い。)	3-(3)	
3	150	上12- 下3	「れいをあげるときにつかう言い方」と例示	児童にとって理解し難い説明と例示である。  (「れいをあげるときにつかう言い方」として理解し難い。)	3-(3)	
4	2 巻 10	脚注	「このように、一を一という」の拡大鏡マーク (36ページ「せっちん」、38ページ「きも助」、「青じし」、「きもをひやす」、39ページ「さいそく」、40ペー	児童にとって理解し難い記号である。  (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			ジ「ねっこける」、42ページ「しもつき」、「うしみつ」、44ページ「よいの口」、45ページ「しんべえすんな」、47ページ「半道」、「ねんねこぼんでん」、59ページ「すいせん」、63ペ			
			ージ「たとえる」、110ページ「ひいらぎの葉」、111ページ「きよろきよろ見回す」、「はり」、112ページ「くちびるをかむ」、113ページ「赤ごはん」、「ため息をつく」、115ペー			
			ジ「もじもじする」、117ページ「とび上がる」、126ページ「首をかしげる」、132ページ「なみだをこらえる」も同)			
5	25		(17行及び脚注) 「木村さんは、何か意見がありますか。」と「意見を言っていない人には、意見をたずねる。」	児童にとって理解し難い発言と説明である。  (「木村さん」の発言に照らして理解し難い。)	3-(3)	
6	66	1 - 8	「ことわざには、次のような、反対の意味をもつものもあります。」と「善は急げ」、「急がば回れ」の例示	児童にとって理解し難い説明と例示である。  (説明と例の関係が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-107		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
7	87	図	図1	児童にとって理解し難い図示である。 (本文との対応が理解し難い。)	3-(3)	
8	91		「パナマ運河」全体	児童にとって理解し難い説明と図である。 (内容が理解し難い。)	3-(3)	
9	92	下表	「図①」及び「図②」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (本文との対応について誤解する。)	3-(3)	
10	94	下11	北海道から九州までの長さを調べる。	児童にとって理解し難い例文である。 (「北海道から九州までの長さ」)	3-(3)	
11	101	2 - 3	「と思いました。」の取消線	児童にとって理解し難い表現である。 (取消線の前後のつながりが理解し難い。)	3-(3)	
12	101	下囲み	心の動きや、自分がそうぞうしたことも書いているね。	児童にとって理解し難い説明である。 (作文例との対応が理解し難い。)	3-(3)	
13	104	上1- 2	上と下の言葉のつながりを考えましよう。	児童にとって理解し難い表現である。 (「上と下の言葉のつながり」)	3-(3)	
14	124	1 - 2	この一年間、『ひろがる言葉』で、どのような言葉を学んできましたか。	誤記である。	3-(2)	
15	145	上2- 4	○○のようなわたしたちは、道で左のページのような絵をよく見ますね。	児童にとって理解し難い例示である。 (「れいをあげるときに使う言い方」の例として理解し難い。)	3-(3)	
16	3巻 11	脚注	「いぬのふぐり」の拡大鏡マーク(12ページ「ジャヴァ語」、14ページ「しんし」、「たくし上げる」、15ページ「一たて」、18ページ「かたをすぼめる」、「そめつける」、「(ぼう	児童にとって理解し難い記号である。 (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-107		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			しの) つば」、20ページ「せかせか」、21ページ「こみあげる」、78ページ「話芸」、79ページ「江戸」、「浅草の観音様」、「用足し」、80ページ「ごりやく」、「のぼり」、81ページ「			
			ほこら」、「かしわ手」、82ページ「ぼんを返す」、84ページ「一文」、「わらじ」、86ページ「足ごしらえ」、87ページ「近郷近在」、89ページ「はんじょう」、90ページ「もっといをは			
			じく」、91ページ「あたる」、104ページ「わりつけ」、「せいしよ」、110ページ「配給」、114ページ「それから」、「まもなく」、「防空ずきん」、115ページ「いよいよ」、116ペー			
			ジ「はしっぽ」、118ページ「とんとんぶき」、119ページ「やがて」、138ページ「日ざし」、「ゆううつ」、「仕出し屋さん」、139ページ「とびきり」、「べそをかく」、「むきになる			
			」、143ページ「ふんぼつ」、「ひょうし」、「すいてき」、145ページ「ふいに」、「からみつく」、146ページ「ほこらしい」、「一ながら」も同)			
17	48	2 - 3	一つの類からではなく、他の類からさがしてみると、はば広く、いろいろな本が見つかります。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (本の見つけ方について誤解する。)	3-(3)	
18	63		「名古屋ごみレポート '20版」によると、…とあります。 (157ページ上6-7も同)	児童にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
19	132	6	日本では昔から、日によって満ち欠けする月を、次のようによんできました。	児童にとって理解し難い表現である。 (「次のように」の内容が理解し難い。)	3-(3)	
20	152		(3、4 印刷をして配り、かいしゅうする) 相手に直接質問して、その場でかいしゅうする方法は、数はかぎられるが、相手の反応がよくわかる。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
21	153	7	電子メールの長所や短所を理解しておく。	児童にとって理解し難い見出しである。 (①～⑤の事例に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-107		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
22	154		(「言葉の木」の〈感じの木〉) 伝え合う 「にぎやか」、「うるさい」、「ぐつ ぐつ」、「ひっそり」、「高い(声) 」	児童にとって理解し難い分類である。  (分類と例の関係が理解し難い。)	3-(3)	
23	4巻 8	脚注	「しだ」の拡大鏡マーク (9ページ「とんがらし」、10ページ 「はぎ」、11ページ「はりきり」、「 しば」、「きす」、12ページ「じれっ たい」、「ぬすと」、13ページ「はん	児童にとって理解し難い記号である。  (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			の木」、「おはぐろ」、14ページ「の ぼり」、「赤いきれのように」、15ペ ージ「そうれつ」、「かみしも」、「 いはい」、「おっかあ」、21ページ「 それなり」、22ページ「木魚」、「か			
			げぼうし」、24ページ「縄をなう」、 25ページ「土間」、49ページ「ぜつめ つ」、「子ガメを、海に放流する研究 」、50ページ「びんかん」、51ページ 「タグ」、52ページ「海流」、53ペー			
			ジ「アメリカ海洋大気局」、70ページ 「漁夫」、76ページ「おおきなつて」 、「ようけの」、77ページ「おおきに 」、「おおきにおきにいりの」、116 ページ「うるし」、118ページ「目立			
			て」、127ページ「作りもん」、133ペ ージ「ひっかえ」、134ページ「よん べ」も同)			
24	79	下囲み	組み合わせた漢字の意味がわかれば 、熟語の意味がわかることもあるね。	児童にとって理解し難い説明である。  (文意が理解し難い。)	3-(3)	
25	97		「エ」に記されているURL	学習上の参考にする情報を参照させるウェブペ ージのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)	
26	98	表	(点字の表) 「だく音・半だく音」の表	児童が誤解するおそれのある示し方である。  (点字を誤読するおそれがある。)	3-(3)	
27	103	上8- 9	「しかし・そして・また」などのつな ぎ言葉	表現が不統一である。  (同ページ上4「③文と文をつなぐ言葉」、60-61 ページ「二つのことがらをつなぐ言葉」に照らして 表現が不統一。)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-108		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 15	脚注	「しきり」の拡大鏡マーク (18ページ「タブ」、32ページ「マスメディア」、50ページ「人目をひく」、66ページ「江戸時代」、67ページ「知る 多少」、68ページ「ーを望む」	児童にとって理解し難い記号である。  (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			、「頭をたれる」、88ページ「あなた」、「尋めゆきて」、「涙さしぐみ」、90ページ「え」、92ページ「かねて」、「うなぎつりばり」、「たたみ糸」、93ページ「けいせき」、「感嘆」			
			、94ページ「あんばい」、「案の定」、「思わぬ」、「会心のえみ」、95ページ「目にも物を見せる」、97ページ「小屋がけ」、98ページ「真一文字」、99ページ「ひとあわふかせる」、102			
			ページ「不意をうつ」、103ページ「いげん」、「強く心を打たれる」、104ページ「らんまん」、112ページ「歳時記」も同)			
2	61	8	三十三体の龍が「御庭 (ウナー)」に向けてえがかれています。	不正確である。  (首里城の説明として不正確。)	3-(1)	
3	70 - 71	下11 -上3	敬語は、次の(1)～(5)のような場合にも使われます。 (1) 目上の人に対して、敬意を表す場合 ようち園の時の先生に対して、	児童にとって理解し難い説明である。  (直前の説明に照らして理解し難い。)	3-(3)	
			「先生、お元気でいらっしゃいますか。」			
4	132	下12 -13	五音、七音のくり返しですから、とてもリズムがあります。	児童にとって理解し難い表現である。  (「とてもリズムがあります」)	3-(3)	
5	2 巻 9	脚注	「ブナ」の拡大鏡マーク (24ページ「祇園精舎」、「沙羅双樹」、25ページ「琵琶法師」、36ページ「ザラメ」、37ページ「きび」、40ページ「うさ」、「けだし」、「浄瑠璃	児童にとって理解し難い記号である。  (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			」、41ページ「なにわ節」、「幻灯」、42ページ「十一さい」、「飲むべからず」、45ページ「ふうろう」、「ほおの木の前」、48ページ「寒水石」、49ページ「父兄」、「らいひん」、「			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-108		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			お断り申しそうろう」、52ページ「えんぴ服」、55ページ「ほおの木の葉」、58ページ「そねむ」、60ページ「かくし」、75ページ「はたはた」、78ページ「すいこう」、90ページ「所せま			
			しと」、92ページ「物語の展開」、115ページ「大ばいわし」、「とむらい」、117ページ「選者」、139ページ「気にやむ」、「むねが張りさける」、「たからの持ちぐされ」、140ペー			
			ジ「チップ」、「一マイル」、141ページ「一を指して」、148ページ「独白」、「シテ」、「アド」、「小アド」、149ページ「事無う」、150ページ「したが」、「しからば」、「ゆるり			
			と」、「さらば」、151ページ「いかさま」、「合点」、「みども」、「そち」、153ページ「なごり」、「寄りにける」、154ページ「無法」、「食うさえあるに」、「いかなこと」、「			
			天目茶わん」、155ページ「かいな」、156ページ「いかなこと」、157ページ「横着者」、「やるまいぞ」も同)			
6	33	上2-3	二つの漢字を組み合わせて、新しい意味を表した漢字です。	児童が誤解するおそれのある説明である。 (会意文字について誤解する。)	3-(3)	
7	134	1-2	この一年間、『ひろがる言葉』で、どのような言葉を学んできましたか。	誤記である。	3-(2)	
8	165	下12	ある人生の生涯	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
9	3巻 12	脚注	「やめる」の拡大鏡マーク(15ページ「草いきれ」、「そいね」、「しごく」、「言葉のあや」、17ページ「あさぎ色」、「見はるかす」、18ページ「しおざい」、24ページ「あ	児童にとって理解し難い記号である。 (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			けぼの」、「おもむき」、「暗唱」、26ページ「やみ」、28ページ「火桶」、40ページ「氷室」、44ページ「パーク」、63ページ「干ぬ」、72ページ「すえる」、「ほほける」、74ページ「			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-108		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			はた」、「やいと」、75ページ「ハイキュウ」、76ページ「とぎれとぎれにほえだす」、77ページ「せんに」、「B29」、78ページ「一升」、「まっさら」、80ページ「ヒロシマ」、81ペー			
			ジ「黒いさを垂らす」、「ぼんちようちゃん」、「へいけがに」、「くど」、「節くれだつ」、83ページ「いぬめぐり」、118ページ「横町」、119ページ「身を乗り出す」、120ページ「リ			
			ード」、123ページ「分別」、「サークル」、124ページ「買いかぶる」、「かたをすくめる」、125ページ「まちまち」、127ページ「バツが悪い」、128ページ「絶句」、129ページ「あ			
			っけにとられる」、130ページ「息をのむ」、131ページ「おごそか」も同)			
10	36	グラフ	「東京の平均気温」の折れ線グラフ	児童にとって理解し難いグラフである。 (東京の平均気温を表したグラフとして理解し難い。)	3-(3)	
11	36	5 - 7	棒グラフが一家族(世帯)がアイスやシャーベットに支出するお金を表し、	児童が誤解するおそれのある表現である。 (棒グラフが示すものについて誤解する。)	3-(3)	
12	37	3 - 5	二つのグラフは、東京の平均気温とアイス・シャーベットの家計支出額の変化を、月ごとに比べたものなのです。	児童にとって理解し難い表現である。 (「月ごとに比べたもの」)	3-(3)	
13	66	下3- 4	「目に見える形・あらわれたものの形」で例示されている「印象」(左図「印象」も同)	児童が誤解するおそれのある例示である。 (「目に見える形・あらわれたものの形」の例として誤解する。)	3-(3)	
14	88	下囲み	比喻 ぬれたような母ちゃんの黒目に……。	児童にとって理解し難い例示である。 (「ぬれたような母ちゃんの黒目」)	3-(3)	
15	94	写真	『理系アタマがぐんぐん育つ科学の実験大図鑑』のロゴ「DK」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-108		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
16	108	上	「西川さん」と「田村さん」の会話	児童にとって理解し難い会話例である。 (活動の趣旨に照らして理解し難い。)	3-(3)	
17	110	上	「竹中さん」と「本田さん」のメッセージのやりとり	児童にとって理解し難いやりとり例である。 (活動の趣旨に照らして理解し難い。)	3-(3)	
18	137	上11 -下2	せみのせりふふう もちろん、私は知っていました。だから、その子のあみが近づくまで知らん顔をしていたんです。そして、十分引きつけておいてから、さっとにげたん	児童にとって理解し難い例示である。 (文体の例として理解し難い。)	3-(3)	
			です。どうです?……			
19	4巻 8	脚注	「とりとめない」の拡大鏡マーク(同ページ「立ちすくむ」、9ページ「息をのむ」、11ページ「はぐらかす」、12ページ「あいそ笑い」、「うやうやしい」、13ページ「しげしげ」、	児童にとって理解し難い記号である。 (記号の意味が理解し難い。)	3-(3)	
			14ページ「とっぴょうしもない」、15ページ「仰天」、18ページ「ときめく」、22ページ「とっさ」、23ページ「せつない」、24ページ「うなだれる」、31ページ「万葉集」、50ページ「あ			
			くまでも」、「保証」、53ページ「証明」、55ページ「作り笑い」、「はしはし」、56ページ「自立」、77ページ「ひとしきり」、79ページ「うかい」、96ページ「津田仙」、97ページ「ワ			
			シントンド. C.」、106ページ「フローレンス=ナイチンゲール」、108ページ「無為」、115ページ「古墳時代」、116ページ「平安時代」、128ページ「私の場合」、「湯河原」、「か			
			ぐわしい」、129ページ「りょう線」、「たかぶる」、130ページ「遠まき」、「はぶりのよい」、「しゃれ者」、「アンサンブル」、「うとい」、「風合い」、「しょうのう」、135ペー			
			ジ「ぬけ」、「金真弓」、「赤星」、「金細矢」、「虹雲」、136ページ「号」、138ページ「野球殿堂」、139ページ「一朶」も同)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-108		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	42	上囲み	自分の意見や根拠としてふさわしい資料を使っているか。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
21	69	下	でも、その他の物語は教科書以外では、あまり読んでこなかったことがわかった。	児童にとって理解し難い表現である。 (直前の文とのつながりが理解し難い。)	3-(3)	
22	70 - 73		「敬意を表す言い方」全体	児童にとって理解し難いコラムである。 (表題と内容の関連が理解し難い。)	3-(3)	
23	112	上1- 10	言葉 『津田梅子』を読んでもみると、ほとんどの文は、文末が「た」になっています。しかし、「た」で終わらない文がいくつかあることに気づいたでしょう	児童にとって理解し難い設問である。 (趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
			か。すでに起こったことなのに、どうして「た」で終わらないのでしょうか。「た」を使わないことに、どのような効果があるのか、「」のついた文を、会話文以外で見つけて、それぞれ			
			考えてみましょう。			
24	115	下5- 9	また、幕末から明治期にかけては、西洋の文化を取り入れるために、多くの言葉が漢字を使ってつくられました。英語の「society」(ソサエティ)を「社会」としたことなどが、それに	児童が誤解するおそれのある説明である。 (「社会」について誤解する。)	3-(3)	
			あたります。			
25	132	3	『枕草子』(上巻26ページ)	誤りである。 (ページの表示が誤りである。)	3-(1)	
26	142	上左	(『星の林に月の船』の紹介文) 千数百年の間に作られた詩歌作品の中から選び、時代順に配列しました。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-110		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1 巻 8	上囲み 1	(三年生で学ぶこと 話す・聞く) 司会	「司」は、その使用に当たって学習上必要な配慮がされていない。 (学年別漢字配当表において4年配当の漢字。)	固有 2-(1)	
2	108	下1	(本で知ったことをクイズにしよう) (「新漢字」の下) 158ページ	誤りである。 (ページの表示が誤りである。)	3-(1)	
3	2 巻 57	3段	(ことわざ・故事成語) かほうはねて待て・イラスト	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「かほう」について誤解する。)	3-(3)	
4	136	囲み9 -11	(たいせつ 登場人物についての考えをつたえ合う) 考えるときに着目した言葉や文を明らかにしながら、自分とくらべて感じたことをつたえる。	児童にとって理解し難い表現である。 (「自分とくらべて」。)	3-(3)	
			(143ページ上16行「自分とくらべて」も同。)			
5	3 巻 10	上段	(写真) 「POLUS」「DHL」 (57ページ左上「POLUS」「DHL」、58ページ「POLUS」、59ページ「POLUS」「DHL」も同。)	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
6	87	中1- 2	(つなぎ言葉のはたらきを知ろう) つなぎ言葉は、話し手や書き手の気持ちを表すことがあります。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (つなぎ言葉について誤解する。)	3-(3)	
7	90	標題	集めるときに使おう	児童にとって理解し難い表現である。 (本文との関係が理解し難い。)	3-(3)	
8	90	下10 -11	(要約するとき) 説明する文章や物語など、元の文章の種類に合わせる。	児童にとって理解し難い説明である。 (説明の意図が理解し難い。)	3-(3)	
9	4 巻 40	左囲み 3	(クラスみんなで決めるには) 動画を見て、考えてみましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「動画を見て、」。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-111		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 8	中	(この教科書で学習するみなさんへ) 「話す・聞く」「書く」全体	相互に矛盾している。 (該当のページ(47ページ)の記述と一致しない。)	3-(1)	
2	8	下	(この教科書で学習するみなさんへ) 「読む」全体	相互に矛盾している。 (該当のページ(36・37ページ)の記述と一致しない。)	3-(1)	
3	78	左囲み	(みんなが使いやすいデザイン) 動画を見てみましょう。ユニバーサル デザインについて、どのようなことを くわしく調べたいと思いましたか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「動画を見てみましょう。」。)	2-(1)	
4	147	上12 -16	(和語・漢語・外来語) 「ブーム」のような言葉を、外来語と いいます。外来語の多くは、近代にな り、日本とアメリカやヨーロッパの国 々との交わりの中で、日本語の中に取	児童が誤解するおそれのある説明である。 (外来語について誤解する。)	3-(3)	
			り入れられた、外国の言葉です。			
5	148	上15 -16	(和語・漢語・外来語) 漢語や、なじみのない外来語を使うと 、相手が理解できない可能性があります。	児童が誤解するおそれのある説明である。 (漢語について誤解する。)	3-(3)	
6	165	下	(表「小学生が好きな本・雑誌の種類」 のキャプション) 全国の小学生1200人(各学年の男女 100人ずつ)に調査[2024年]	児童が誤解するおそれのある表現である。 (実在する調査結果であるかのように誤解する。)	3-(3)	
7	195	上囲み 6-7	(言葉でスケッチ 例文) 小学五年生の両手に乗りそうなほどの 大きさの子ねこだ。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
8	218	目標下 3-4	(もう一つの物語) 読む人にどのような効果があるかを考 えながら、構成を工夫する。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
9	下巻 74	標題	集めるときに使おう	児童にとって理解し難い表現である。 (本文との関係が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-111		学校 小学校		教科 国語	種目 国語	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	81	上3-4	(デジタル機器と私たち) 提案のきっかけが、提案内容を支える理由や根拠として説得力があるか。	児童にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
11	152	7-8	(狂言「柿山伏」を楽しもう) 下の「柿山伏」の動画を鑑賞し、感想を伝え合いましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「動画を鑑賞し、」。)	2-(1)	
12	201	下1-5	(日本の文字文化) 1 次の俳句を例に、文字によって受ける印象がどう変わるか考えましょう。 なつくさや つわものどもが ゆめの	児童にとって理解し難い設問である。 (設問の意図が理解し難い。)	3-(3)	
			あと ナツクサヤ ツワモノドモガ ユメノ アト 夏草や 兵どもが 夢の跡			
13	219	2-4	(日本語の特徴) 英語では、「I eat」「I don't eat」と、初めのほうで文の内容が決まります。	児童にとって理解し難い説明である。 (「初めのほうで文の内容が決まります。」。)	3-(3)	
14	271	上4-5	(詩から表現の工夫を学ぶ) 生物や事物の動きや様子の感じを表した言葉を、擬態語といいます。	児童が誤解するおそれのある説明である。 (擬態語について誤解する。)	3-(3)	
15	276	上4-5	(言葉の交流) 一つには、発音ごと取り入れる方法があります。外来語とよばれ、ふつうは片仮名で書きます。	児童が誤解するおそれのある説明である。 (外来語について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-164		学校 小学校		教科 国語	種目 書写	学年 1・2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 23	左上	マーク（上巻37、43、45、下巻25、30、31、37、39ページも同様）	児童にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
2	42	左下	ととのっているほう 川 川	相互に矛盾している。（川はどちらも整っている）	3-(1)	
3	下巻 36	右上	ととのっているほう 林 林	相互に矛盾している。（林はどちらも整っている）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-165		学校 小学校		教科 国語	種目 書写	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 29	左上	新年にふさわしい おめでたい言葉や、一年間の めあてなどを書きます。	児童にとって理解し難い表現である。(改行)	3-(3)	
2	47	右上	国(下巻44ページ「国」も同様)	児童が誤解するおそれがある。(最終画の筆順及び色)	3-(3)	
3	下巻 32	右下	書写のかぎ 村	不正確である。(村の6画目のはね)	3-(1)	
4	36	上	えん筆とフェルトペンの例 右下 例 「えん筆で目印の線」	児童にとって理解し難い表現である。(えん筆の作品は、最後に目印のえん筆線を消すことが困難)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-167		学校 小学校		教科 国語	種目 書写	学年 1・2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 46	左中	「日」二画目の始筆（下巻11ページも同様）	児童が誤解するおそれのある図である。（一画目との接し方）	3-(3)	
2	下巻 5	中～下	かみを（下段） 紙を（中段）	表記が不統一である。	3-(4)	
3	23	上	交わるいちは、どちらがいいかな。 ①文 ②文	児童にとって理解し難い表現である。（交わるいち は、どちらがいいかな。）	3-(3)	
4	28	右下	太田 手本 大田	相互に矛盾している。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-168		学校 小学校		教科 国語	種目 書写	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	下巻 3	右上	学習の進め方・・・4	不正確である。	3-(1)	
2	38	左	雨 はねる。 雲 はらう。	児童が誤解するおそれのある表現である。(はねがはらいに変化したと誤解するおそれ)	3-(3)	
3	45		手本全体	誤植である。(行の中心)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-169		学校 小学校		教科 国語	種目 書写	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 1	左上	マーク(下巻30ページ右、31ページ上、32ページ上も同様)	児童にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
2	32	左下	パソコンでも作ってみよう。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (パソコンでも作ってみよう。)	3-(3)	
3	下巻 18	中	・部分	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-171		学校 小学校		教科 国語	種目 書写	学年 3・4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 54 - 55		平がな かたかな 全体	児童にとって理解し難い表現である。(54ページと55ページの違い)	3-(3)	
2	下巻 20	下	位 筆順	不正確である。	3-(1)	
3	22		半紙 (5か所)	児童にとって理解し難い。(書道用紙の名称は、半紙、条幅、書初め用紙などサイズによる)	3-(3)	
4	24	左	必 筆順	不正確である。	3-(1)	
5	31	下	治 筆順	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-172		学校 小学校		教科 国語	種目 書写	学年 5・6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 25	中下	周りが線で囲まれている漢字は小さめに書く。(31ページも同様)	児童が誤解するおそれのある表現である。(国、聞、風、周、母などを小さめに書くおそれ)	3-(3)	
2	36	左	ア 本文全体 イ 本文全体 ウ 本文全体 ※ 用件の初めに頭語、最後に結語	児童が誤解するおそれのある表現である。(頭語、結語の位置について)	3-(3)	
3	下巻 3	下中	図版小筆	相互に矛盾している。 (15ページ左下の図版)	3-(1)	
4	28	下	書写の言葉 基本点画(40ページは点や画)	相互に矛盾している。	3-(1)	
5	32 - 33	左上	パンフレット全体 使用されている筆記具(例)	児童にとって理解し難い表現である。(パンフレット全体と使用されている筆記具(例)の関係について理解し難い。)	3-(3)	
6	33	右下	私 困 筆順	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。